

課題1

基礎・基本の徹底、学力の二極化解消、考える力・表現する力・学ぶ意欲の向上、家庭学習の習慣化

課題2

いじめ・不登校の根絶、自尊感情、自己肯定感の醸成、善悪の判断（自己指導力）、あいさつ習慣

課題3

外遊び増加、運動習慣、体力・運動技能の向上、就寝時間等生活習慣の向上、事故の減少、食への関心

【目指す児童像】

- ◆生命を大切にし、自他を尊重する子供
- ◆素直で明るく、心豊かな子供
- ◆進んであいさつし、決まりを守る子供
- ◆真剣に考え、進んで表現できる子供
- ◆何事にも一生懸命に取り組む子供
- ◆知・徳・体のバランスのよい子供

教育目標

豊かな心と広い視野をもち、国際社会をたくましく生きる児童を育てる。

自分から進んで考える子

相手の気持ちを思いやる子

互いに高めあう子

【目指す学校像】

- ◇あたたかい学校・あたたかい教育を行う学校
- ◇授業で勝負する、学び合う教師が集う学校
- ◇子供と向き合い、一人の子供を大切に学校
- ◇課題解決にチームで取り組む活力ある学校
- ◇学校・家庭・地域それぞれが役割を果たす学校
- ◇教師としての誇りをもち、服務事故のない学校

【経営方針】 とにかく明るく元気な学校・一人ひとりが大切にされ、どの子も活躍できる学校

かしこく

【成果指標1】

- ①国・都学力調査「国語・算数」都平均以上
- ②区学力調査「国・算」目標値+5p以上
- ③学校実施学力調査「国・算」目標値+5p以上
- ④週5日以上家庭学習 80%以上、宿題提出率 95%以上
- ⑤「中野の100冊」を読破した児童 70%以上
- ⑥小中連携の取組を評価する保護者 80%以上

具体的な取組

- ①週ごとの指導計画により、1時間1時間の授業を大切に、確実に学力を向上させ、学ぶ意欲を高めます。
- ②「西中野スタンダード」を基本にして、学習習慣を身に付けさせます。
- ③「放課後ぜんりょく塾」「補充学習教室」「東京ベーシックドリル」により基礎・基本を定着させます。
- ④国語科を中心に「音読」を積極的に行い、表現力を身に付けさせ、学力の基礎を培います。
- ⑤習熟度に応じた指導により学力不振の底上げ、学力上・中位層の引き上げをして学力を伸ばします。
- ⑥課題解決型の学習課題を工夫して、思考力・判断力・表現力を高める授業を行います。
- ⑦交流学習や話し合い学習をととして主体的・対話的で深い学びができる子供を育てます。
- ⑧「宿題」に徹底して取り組ませ、家庭での学習習慣を身に付けさせます。
- ⑨「漢字検定」をととして、進んで学習する児童を育てます。
- ⑩タブレットなどのICT機器を活用して分かる授業を行います。
- ⑪「中野の100冊」「朝読書」「読み聞かせボランティア」により読書活動を充実させます。
- ⑫校内研究、校内研修を充実させ、教員の指導力・授業力を一層高めます。
- ⑬小中連携教育（乗り入れ指導・オープンキャンパス）を充実させて中学校との円滑な接続を図ります。
- ⑭オリンピック・パラリンピック教育により国際感覚豊かな児童を育てます。

やさしく

【成果指標2】

- ①不登校ゼロ、いじめゼロ、学級崩壊ゼロ
- ②「決まりをまもっている」児童 90%以上
- ③「クラスに優しい人がいる」 85%以上
- ④「自分にいいところがある」児童 80%以上
- ⑤近所の人に進んであいさつできる児童 80%以上
- ⑥心の教育を評価する保護者 80%以上

具体的な取組

- ①命の大切さや、いじめ未然防止の指導をととして自分も友達も大切にできる子供を育てます。
- ②全教職員できめ細かい児童理解に努め、配慮を要する児童の支援を行い、学校不適応を未然防止します。
- ③ほめる指導をととして、自己肯定感を高めます。
- ④「西中野アート祭り(展覧会)」をととして、豊かな感性や創造力を育成します。
- ⑤「ぜんりょくタイム」(全校集会)により認め合いや活躍の場面を増やします。
- ⑥「西中野よい子のやくそく」を基本にして生活規律や正しい言葉づかいを身に付けさせます。
- ⑦「考え議論する道徳」の授業を展開し、一人ひとりの道徳性を高めます。また、道徳授業を公開し、保護者・地域と連携して道徳教育の充実を図ります。
- ⑧あいさつ指導を徹底します。地域の方や来客者へのあいさつを励行します。
- ⑨人権意識を高めてダイバーシティ・スクール(多様性を大事にする学校)を推進します。
- ⑩伝統ある鼓笛活動をととして愛校心を育てます。
- ⑪ゴーヤの栽培活動やモルモットの飼育活動をととして、生命や環境を大切にすることを育成します。
- ⑫特別な支援を要する児童について全教職員が共通理解し、一人ひとりのニーズに応じた指導をします。
- ⑬しらさぎ学級における「交流及び共同学習」を充実させ、特別支援教育を推進します。
- ⑭サービス事故研修を実施し、子供の手本となる教育公務員としての意識を高めます。

たくましく

【成果指標3】

- ①週5日以上運動している児童 85%以上
- ②体力テスト「俊敏性」「持久力」区平均以上
- ③給食の残食量 前年比 20%減
- ④早寝 70%・早起き 80%・朝食 95%以上
- ⑤校内・校外事故の年間件数 前年比 20%減
- ⑥体力向上の取組を評価する保護者 95%以上

具体的な取組

- ①家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基本的な生活習慣を身に付けさせます。
- ②「ぜんりょくマラソン大会」「なわとび発表会」「長縄大会」「サーキット・タイム」などの特色ある体力向上の取組を充実させます。
- ③「朝遊び」や業間の「30分外遊び」「運動遊び」を大切にして運動の日常化を図ります。
- ④「持久力」「敏捷性」を身に付けさせる取組により、本校の体力課題を改善します。
- ⑤運動量の多い体育授業を実施します。
- ⑥フラッグフットボールなどのニュースポーツにも挑戦し、スポーツを楽しむ児童を育てます。
- ⑦全校共通の給食指導を中心に、食育を推進します。
- ⑧がん教育などの健康教育を保護者と連携して実施します。
- ⑨セーフティ教室や交通安全教室、日常的な「一声指導」を徹底し、事故ゼロを目指して事故を未然防止します。
- ⑩緊張感ある避難訓練で危機回避能力を育成します。
- ⑪危機意識をもって定期的な安全点検、日常の安全管理を徹底します。
- ⑫危機管理マニュアル、学校防災計画に基づいて、緊急時において組織的、迅速・適切に対応します。